

(様式第 10)

国循病発総第 15110502 号  
平成 27 年 11 月 5 日

厚生労働大臣

殿

国立研究開発法人  
開設者名 国立循環器病研究センター  
理事長 橋本 信夫 (印)

国立循環器病研究センターの業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 26 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒 5 6 5 - 8 5 6 5 大阪府吹田市藤白台 5 - 7 - 1
氏 名	国立研究開発法人国立循環器病研究センター

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

国立研究開発法人国立循環器病研究センター
----------------------

3 所在の場所

〒 5 6 5 - 8 5 6 5 大阪府吹田市藤白台 5 - 7 - 1	電話(06) 6833-5012
--	------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜
<input checked="" type="radio"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等 1 呼吸器内科 2 循環器内科 3 神経内科 4 心臓血管内科 5 高血圧・腎臓内科 6 糖尿病・代謝内科 7 脳神経内科 8 脳血管内科 9 10 11 12 13 14	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	<input checked="" type="radio"/> 有・無					
外科と組み合わせた診療科名						
1 心臓血管外科	2 小児外科	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
診療実績						

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

<input checked="" type="radio"/> 1精神科	<input checked="" type="radio"/> 2小児科	<input checked="" type="radio"/> 3整形外科	<input checked="" type="radio"/> 4脳神経外科	<input checked="" type="radio"/> 5皮膚科	<input checked="" type="radio"/> 6泌尿器科	7産婦人科
<input checked="" type="radio"/> 8産科	<input checked="" type="radio"/> 9婦人科	<input checked="" type="radio"/> 10眼科	<input checked="" type="radio"/> 11耳鼻咽喉科	<input checked="" type="radio"/> 12放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科		<input checked="" type="radio"/> 15麻酔科	16救急科			

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	<input checked="" type="radio"/> 有・無					
歯科と組み合わせた診療科名						
1	2	3	4	5	6	7
歯科の診療体制						

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 リハビリテーション科	2 病理診断科	3 臨床遺伝科	4 周産期・婦人科	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21		

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
床	床	床	床	6 1 2床	6 1 2床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成27年 7月 1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	153人	151人	260.5人	看 護 補 助 者	19人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0人
歯 科 医 師	0人	11人	0.9人	理 学 療 法 士	17人	臨 床 検 査 技 師	65人
薬 剤 師	39人	5人	42.4人	作 業 療 法 士	4人	衛 生 検 査 技 師	0人
保 健 師	1人	0人	1人	視 能 訓 練 士	1人	そ の 他	0人
助 産 師	16人	0人	16人	義 肢 装 具 士	0人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	0人
看 護 師	621人	16人	631.9人	臨 床 工 学 士	20人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	4人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	そ の 他 の 技 術 員	10人
歯 科 衛 生 士	0人	0人	0人	歯 科 技 工 士	0人	事 務 職 員	168人
管 理 栄 養 士	5人	3人	7.4人	診 療 放 射 線 技 師	42人	そ の 他 の 職 員	46人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年 7月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	28人	眼 科 専 門 医	0人
外 科 専 門 医	11人	耳 鼻 咽 喉 科 専 門 医	0人
精 神 科 専 門 医	0人	放 射 線 科 専 門 医	3人
小 児 科 専 門 医	13人	脳 神 経 外 科 専 門 医	10人
皮 膚 科 専 門 医	1人	整 形 外 科 専 門 医	0人
泌 尿 器 科 専 門 医	0人	麻 酔 科 専 門 医	7人
産 婦 人 科 専 門 医	7人	救 急 科 専 門 医	1人
		合 計	81人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	480.1人	0人	480.1人
1日当たり平均外来患者数	412.8人	1.8人	414.6人
1日当たり平均調剤数			1,116.7剤
必要医師数			81人
必要歯科医師数			1人
必要薬剤師数			17人
必要(准)看護師数			255人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除し

た数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

### 9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	1,294.88 m <sup>2</sup>	鉄筋コン クリート	病床数	44床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 [移動式の場合] 台数	113.7m <sup>2</sup> 台	病床数		4床	
医薬品 情報管理室	[専用室の場合] 床積 [共用室の場合] 共用する室名	51.9 m <sup>2</sup>				
化学検査室	264 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動臨床検査システム、尿分析装置			
細菌検査室	85.2m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) PCR検査システム、パルスフィールド電気泳動システム			
病理検査室	114 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 電気泳動装置、自動染色装置			
病理解剖室	45.6m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) 電子顕微鏡、超低温フリーザー			
研究室	7121.3m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	(主な設備) SPECT/CT、タンパク質ペプチド質量分析装置			
講義室	707.4m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	5室	収容定員	475人
図書室	579 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	室数	1室	蔵書数	48,000冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

### 10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成26年4月1日～平成27年3月31日	
紹介率	91.2%	逆紹介率	105.4%
算 出 根 拠	A：紹介患者の数	6,937人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	10,301人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1,976人	
	D：初診の患者の数	9,774人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	経胎盤的抗不整脈薬投与療法	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 胎児頻脈性不整脈に対し抗不整脈薬を経胎盤的に投与する【胎児治療】を行なう。			
医療技術名	アルテプラゼ静脈内投与による血栓溶解療法	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 睡眠中発症及び発症時刻不明の急性脳梗塞患者に対し、アルテプラゼ0.6mg/kgを用いた静脈血栓溶解療法の安全性と有効性を、標準内科治療群との他施設共同非盲検群間比較法を用いて評価する。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	4人	・膿疱性乾癬	人
・多発性硬化症	5人	・広範脊柱管狭窄症	人
・重症筋無力症	8人	・原発性胆汁性肝硬変	1人
・全身性エリテマトーデス	18人	・重症急性膵炎	2人
・スモン	人	・特発性大腿骨頭壊死症	人
・再生不良性貧血	人	・混合性結合組織病	4人
・サルコイドーシス	80人	・原発性免疫不全症候群	1人
・筋萎縮性側索硬化症	2人	・特発性間質性肺炎	1人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	9人	・網膜色素変性症	4人
・特発性血小板減少性紫斑病	5人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	6人	・肺動脈性肺高血圧症	122人
・潰瘍性大腸炎	4人	・神経線維腫症	2人
・大動脈炎症候群	82人	・亜急性硬化性全脳炎	人
・ビュルガー病	39人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	人
・天疱瘡	1人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	166人
・脊髄小脳変性症	9人	・ライソゾーム病	5人
・クローン病	1人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	22人
・悪性関節リウマチ	1人	・脊髄性筋委縮症	人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	44人	・球脊髄性筋委縮症	人
・アミロイドーシス	8人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	人
・後縦靭帯骨化症	6人	・肥大型心筋症	153人
・ハンチントン病	6人	・拘束型心筋症	2人
・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	319人	・ミトコンドリア病	1人
・ウェゲナー肉芽腫症	1人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	462人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	人	・黄色靭帯骨化症	人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	4人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・特定機能病院入院基本料 一般病棟7:1	・新生児特定集中治療室管理料1
・救急医療管理加算	・小児入院医療管理料2(プレイルーム加算あり)
・超急性期脳卒中心加算	・
・妊産婦緊急搬送入院加算	・
・診療録管理体制加算2	・
・急性期看護補助体制加算1 25対1(看護補助者50%未満)	・
・看護職員夜間配置加算	・
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1(感染防止対策地域連携加算)	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・退院調整加算1	・
・新生児特定集中治療室退院調整加算1及び2、3	・
・救急搬送患者地域連携紹介加算	・
・救急搬送患者地域連携受入加算	・
・病棟薬剤業務実施加算	・
・データ提出加算2	・
・特定集中治療室管理料1(小児加算あり)	・
・特定集中治療室管理料3(小児加算あり)	・
・ハイケアユニット入院医療管理料1	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

その1

施設基準の種類	施設基準の種類
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行期加算)	・ポジトロン断層撮影
・糖尿病合併症管理料	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・移植後患者指導管理料	・CT撮影及びMRI撮影
・糖尿病透析予防指導管理料	・冠動脈CT撮影加算
・夜間休日救急搬送医学管理料	・心臓MRI撮影加算
・外来リハビリテーション診療料	・無菌製剤処理料
・ニコチン依存症管理料	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・地域連携診療計画管理料	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅱ)	・処置の休日加算1
・薬剤管理指導料	・処置の時間外加算1
・医療機器安全管理料1	・処置の深夜加算1
・医療機器安全管理料2	・一酸化窒素吸入療法
・持続血糖測定器加算	・手術の休日加算1
・造血器腫瘍遺伝子検査	・手術の時間外加算1
・HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・手術の深夜加算1
・検体検査管理加算(Ⅰ)	・経皮的冠動脈形成術
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・遺伝カウンセリング加算	・経皮的冠動脈ステント留置術
・血管内視鏡検査加算	・経皮的大動脈弁置換術
・植込型心電図検査	・経皮的中隔心筋焼灼術
・時間内歩行試験	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・胎児心エコー法	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・ヘッドアップティルト試験	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・皮下連続式グルコース測定	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術
・神経学的検査	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術(レーザーシースを用いるもの)
・画像診断管理加算2	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術





(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

### 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
健康研究成果の実用化加速のための研究・開発システム関連の隘路解消を支援するプログラム 迷走神経刺激による心不全治療の最適化	杉町 勝	循環動態制御部	31,999,623	補委 先導的創造科学技術開発費補助金
早期・探索的臨床試験拠点整備事業	峰松 一夫	副院長	278,000,000	補委 早期・探索的臨床試験拠点整備事業
革新的医薬品・医療機器・再生医療製品実用化促進事業	巽 英介	人工臓器部	38,000,000	補委 革新的医薬品・医療機器・再生医療製品実用化促進事業
国産医療機器創出基盤整備等事業	赤川 英毅	知的資産部	6,397,000	補委 国産医療機器創出基盤整備等事業
急性心不全に対する選択的アルドステロン拮抗薬の有効性を評価する臨床試験	北風 政史	臨床研究部	108,642,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
診断基準・診療指針の改良と普及をめざした大動脈疾患など遺伝性血管難病に関する調査研究	森崎 隆幸	分子生物学部	14,600,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
ニュートリゲノミクス解析に基づく機能性食用油の安全性に関する研究	内藤 由紀子	病態ゲノム医学部	3,094,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
神経再生性人工細胞外マトリクスを用いた神経疾患治療法の検討	柿木 佐知朗	生体医工学部	4,300,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
被災地における心不全患者の在宅療法に関する研究	橋本 信夫	総長	150,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
組織の適切な供給体制構築のための基盤構築に向けた研究	藤田 知之	心臓血管外科	7,200,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
周産期（産褥性）心筋症の、早期診断スクリーニング検査の確立と抗プロラクチン療法の有効性の検討を含む、診療・治療ガイドライン作成研究	神谷 千津子	周産期・産婦人科部	1,400,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
乳児特発性僧帽弁腱索断裂の病態解明と治療法の確立に関する総合的研究	白石 公	小児循環器部	1,900,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
心臓移植対象患者管理における在宅療法に関する研究	中谷 武嗣	移植部	3,120,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
大量出血症例に対する最適輸血療法の確立に関する研究	宮田 茂樹	輸血管理室	6,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
大規模災害における循環器病診療の体制と手法の確立に関する多施設共同研究	内藤 博昭	病院長	12,300,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
骨髄単核球を用いた細胞治療の一般普及を目指した簡便且つ細胞調製施設が不要な幹細胞分離デバイスの開発	山原 研一	再生医療部	36,496,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
成人先天性心疾患の診療体系の確立に関する研究	白石 公	小児循環器部	7,800,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
脳卒中高リスク群の診断及び治療による循環器疾患制圧に関する研究	峰松 一夫	副院長	15,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金

小計  
18

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ヒトの血管性認知症の病態を的確に再現し治療法開発に直結する新規ラットおよび霊長類モデルの開発研究	猪原 匡史	脳神経内科	8,153,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
Bridge to Decisionを目的とした超小型補助循環システム並びに頭蓋内・心血管治療用の新規多孔化薄膜カバードステントに関する医師主導型治験及び実用化研究	峰松 一夫	副院長	120,120,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
治験の実施に関する研究【エプレノン】	安田 聡	心臓血管内科部門	900,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
治験の実施に関する研究【肺動脈ステント】	白石 公	小児循環器部	1,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
簡便に調製可能な分子標的気泡を用いた超音波分子イメージングの開発－臨床用超音波造影剤の適応拡大の可能性の検討	大谷 健太郎	再生医療部	2,990,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
アポC3をターゲットとした高中性脂血症、動脈硬化症に対する革新的核酸医薬の開発	斯波 真理子	病態代謝部	76,440,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
単独操作者によるポータブル使用が可能で耐久性に優れた超小型心肺補助システムの開発	妙中 義之	副所長	3,100,000	補委 文部省科学研究費補助金
体内植込み型両心補助循環システムのために最適化された右心補助循環用ポンプの開発	築谷 朋典	人工臓器部	2,800,000	補委 文部省科学研究費補助金
走査型触覚顕微鏡の高機能化設計：電荷・密度の同時計測の可能性の追求	高見沢 計一	生体医工学部	4,400,000	補委 文部省科学研究費補助金
スフィンゴシン1-リン酸輸送体Sps2の哺乳類での機能	望月 直樹	細胞生物学部	4,100,000	補委 文部省科学研究費補助金
医療機器の開発に関する知的財産評価指標の有用性評価と妥当性検証	赤川 英毅	知的資産部	3,200,000	補委 文部省科学研究費補助金
慢性閉塞性肺疾患と冠動脈動脈硬化の共通リスク要因に関する国際比較研究	宮本 恵宏	予防健診部	3,200,000	補委 文部省科学研究費補助金
DPP-4阻害薬によるアデノシンの心血管保護を介した新しい心不全治療の開発	北風 政史	臨床研究部	2,300,000	補委 文部省科学研究費補助金
グレリンの自律神経作用を応用した循環器代謝疾患における橋渡し研究	岸本 一郎	糖尿病・代謝内科部	3,300,000	補委 文部省科学研究費補助金
抗血栓性因子プロテインSとADAMTS13の研究を通じた血栓症と血管障害症の解明	宮田 敏行	分子病態部	4,000,000	補委 文部省科学研究費補助金
脱細胞小口径血管の早期内皮化処理と長期開存性の達成	中谷 武嗣	移植部	4,800,000	補委 文部省科学研究費補助金
自律的適応性を有し生体の制御系へ能動的に働きかける新しい人工心臓制御の確立	大沼 健太郎	人工臓器部	4,400,000	補委 文部省科学研究費補助金
先天性心疾患の診療支援をめざしたりアルタイム心拍動・マルチタッチ変形シミュレータ	中沢 一雄	研究情報基盤管理室	3,900,000	補委 文部省科学研究費補助金
血管系におけるスフィンゴシン-1-リン酸シグナルの生理的・病的役割の解明	福原 茂朋	細胞生物学部	3,800,000	補委 文部省科学研究費補助金

小計

19

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
都市部一般住民を対象とした心房細動の実態とリスクスコア作成に関する研究	小久保 喜弘	予防健診部	2,500,000	補委 文部省科学研究費補助金
脳腸ペプチドによる中枢および自律神経系を介した新たな循環調節機構の解明	宮里 幹也	生化学部	3,800,000	補委 文部省科学研究費補助金
心不全の能動的治療を可能とする超小型カテーテル式補助循環デバイスの研究開発	住倉 博仁	人工臓器部	3,400,000	補委 文部省科学研究費補助金
医療の質向上と発症予測モデル開発のための包括的循環器疾患登録プラットフォーム構築	安田 聡	心臓血管内科部門	5,000,000	補委 文部省科学研究費補助金
光造形と体内造形の融合による自家組織バイオバルブ心臓弁の開発とTAVIへの展開	中山 泰秀	生体医工学部	3,900,000	補委 文部省科学研究費補助金
自律神経システム自動医療の開発と適応拡張、および自動循環管理との統合的実用化	神谷 厚範	循環動態制御部	4,500,000	補委 文部省科学研究費補助金
$\beta$ 3インテグリン機能発現におけるILKの役割解明と関連分子の探索・同定	本田 繁則	分子病態部	900,000	補委 文部省科学研究費補助金
左心補助人工心臓装着患者の右心不全に対する心房内シャント形成術の有効性評価	齋藤 友宏	人工臓器部	900,000	補委 文部省科学研究費補助金
低侵襲左心房圧モニターの開発と、コンピュータ制御循環管理システムへの応用	上村 和紀	循環動態制御部	1,600,000	補委 文部省科学研究費補助金
高トリグリセリド血症の網羅的成因解析法の開発と応用：非遺伝子変異因子を中心として	高木 敦子	分子薬理部	1,200,000	補委 文部省科学研究費補助金
トランスクリプトーム解析による食用植物油摂取が生活習慣病に与える影響の機序解明	内藤 由紀子	病態ゲノム医学部	1,100,000	補委 文部省科学研究費補助金
新たな心筋保護因子としてのカルシウムセンサーNCX-1の役割とその分子機構の解明	西谷 友重	分子生理部	1,400,000	補委 文部省科学研究費補助金
肥満関連指標と循環器疾患の危険因子発症リスクに関する研究	渡邊 至	予防健診部	800,000	補委 文部省科学研究費補助金
大動脈瘤形成過程におけるHMGB1蛋白の役割	安齊 俊久	心臓血管内科部	1,200,000	補委 文部省科学研究費補助金
3次元経食道超音波検査による急性期虚血性脳卒中患者の評価	古賀 政利	脳卒中集中治療科	1,200,000	補委 文部省科学研究費補助金
拡張期心不全の新たな非侵襲的診断法の開発：カラーMモード法の空間的・時間的分析	大原 貴裕	心不全科	300,000	補委 文部省科学研究費補助金
ブルガダ症候群における遺伝子、イオンチャネル異常と突然死リスク	相庭 武司	心臓血管内科部	800,000	補委 文部省科学研究費補助金
心筋梗塞後の初期リモデリングおよび不整脈に対する一時的迷走神経刺激治療法の開発	稲垣 正司	循環動態制御部	700,000	補委 文部省科学研究費補助金
冠動脈不安定プラークを同定するMRIとPETを用いた新しい分子イメージングの開発	野口 輝夫	冠疾患科	800,000	補委 文部省科学研究費補助金

小計

19

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ユビキチン系制御によるES・iPS細胞から心筋細胞への効率的分化誘導法の開発	朝倉 正紀	臨床研究部	1,100,000	補委 文部省科学研究費補助金
一過性脳虚血発作(TIA)後の脳卒中発症抑制に関する研究	上原 敏志	脳血管内科	1,400,000	補委 文部省科学研究費補助金
ニューロメジンSと新規生理活性ペプチドが担う新しい生体調節機構の解明	森 健二	生化学部	1,600,000	補委 文部省科学研究費補助金
乳児特発性僧帽弁腱索断裂の病態解明に向けた基礎的研究	白石 公	小児循環器部	800,000	補委 文部省科学研究費補助金
心臓形態形成時の細胞増殖・分化転換機構に対するポリコム遺伝子群の機能解析	白井 学	分子生物学部	900,000	補委 文部省科学研究費補助金
新生児虚血性脳障害の新規モデルを用いた、臍帯血及び骨髄単核球による再生治療	辻 雅弘	再生医療部	1,300,000	補委 文部省科学研究費補助金
不安定プラークの核医学診断のための理論的精密設計に基づく低分子プローブ開発	天満 敬	画像診断医学部	1,200,000	補委 文部省科学研究費補助金
血流シミュレータによる治療困難な脳動脈瘤に対するバイパス併用術支援技術の確立	片岡 大治	集中治療科	700,000	補委 文部省科学研究費補助金
IUGRモデル動物におけるエピジェネティクス機構による神経幹細胞の分化制御の解明	桂木 真司	生化学部	1,100,000	補委 文部省科学研究費補助金
蘇生科学エビデンスの国際発信とガイドライン作成の国際化と標準化に関する研究	野々木 宏	心臓血管内科	1,600,000	補委 文部省科学研究費補助金
酸化LDL及びその受容体LOX-1の全身動態の非侵襲分子イメージング	中野 厚史	血管生理学部	1,400,000	補委 文部省科学研究費補助金
シス型プロリン残基をもつ分泌タンパク質の小胞体における品質管理	小亀 浩市	分子病態部	1,400,000	補委 文部省科学研究費補助金
ニコチン酸及びその代謝関連酵素の血中濃度と循環器疾患リスクに関する地域疫学研究	東山 綾	バイオバンク	1,700,000	補委 文部省科学研究費補助金
グレリンの生理作用を応用した新しい循環器疾患治療法の開発	徳留 健	生化学部	1,200,000	補委 文部省科学研究費補助金
皮膚灌流圧を指標とした重症虚血肢に対する血管内治療：前向き多施設観察研究	河原田 修身	心臓血管内科	1,200,000	補委 文部省科学研究費補助金
虚血性心疾患治療を目指した心臓における細胞極性を制御するメカニズムの解明	中野 敦	臨床研究部	1,200,000	補委 文部省科学研究費補助金
若年性大動脈瘤・解離の新規病因としてのフィラミン機能異常に関する検討	森崎 裕子	分子生物学部	1,400,000	補委 文部省科学研究費補助金
三量体Gタンパク質G12/13を活性化する新規生理活性ペプチドの同定と機能解析	森 美和	生化学部	1,200,000	補委 文部省科学研究費補助金
BMP-3bの新たなアディポサイトカインとしての機能およびその病態生理学的役割	日野 純	生化学部	900,000	補委 文部省科学研究費補助金

小計

19



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
生理活性ペプチド前駆体VGFの機能解明を目的とするペプチドミクス	佐々木 一樹	分子薬理部	1,000,000	補委 文部省科学研究費補助金
新規生理活性ペプチドの同定による新たな摂食及びエネルギー代謝調節機構の解明	吉田 守克	生化学部	1,200,000	補委 文部省科学研究費補助金
凝固線溶系遺伝子変異マウスを用いた本邦血栓症の分子病態学的特徴の確立	坂野 史明	分子病態部	1,400,000	補委 文部省科学研究費補助金
画像診断法を用いた動脈硬化モデルWHHLMIウサギの病態特性の解明	圓見 純一郎	画像診断医学部	800,000	補委 文部省科学研究費補助金
看護学研究に求められる倫理性に関する研究	松井 健志	医学倫理研究室	700,000	補委 文部省科学研究費補助金
プルキンエ起源特発性不整脈の発生メカニズムに関するシミュレーション研究	原口 亮	情報統括部	1,100,000	補委 文部省科学研究費補助金
活動依存的Ca <sup>2+</sup> シグナル系を介した小脳顆粒細胞発生・成熟機構の解明	岡澤 慎	血管生理学部	1,000,000	補委 文部省科学研究費補助金
肥大型心筋症の発症機序解明と治療法開発に関する基礎研究	杜 成坤	心臓生理機能部	700,000	補委 文部省科学研究費補助金
ニューロメジンUの慢性炎症を介した動脈硬化誘発機序の解明	堀 美香	病態代謝部	800,000	補委 文部省科学研究費補助金
心疾患合併妊娠の管理医療の開発：抗プロラクチン療法のヒト臨床-動物基礎複合的研究	神谷 千津子	周産期・婦人科部	1,200,000	補委 文部省科学研究費補助金
研究倫理コンサルテーションの調査と試行に基づく事例集積モデル構築	會澤 久仁子	予防医学・疫学情報部	800,000	補委 文部省科学研究費補助金
心筋血流量の高精度測定を実現するマルチスケール薬物動態モデルの開発	越野 一博	画像診断医学部	900,000	補委 文部省科学研究費補助金
異種情報の結合による先天性心疾患のための患者情報データベースに必要な技術開発研究	岩田 倫明	知的資産部	1,100,000	補委 文部省科学研究費補助金
心筋増殖過程におけるHippoシグナル機能の解明	福井 一	細胞生物学部	1,600,000	補委 文部省科学研究費補助金
コレステロール合成・吸収機構におけるヘパラン硫酸プロテオグリカンの作用機序の解明	池末 昌弘	病態ゲノム医学部	1,000,000	補委 文部省科学研究費補助金
新たな心肥大調節経路としての核内Ca <sup>2+</sup> 動態とCa <sup>2+</sup> センサーNCS-1の意義	中尾 周	分子生理部	1,100,000	補委 文部省科学研究費補助金
低酸素による右心室肥大の意義と心不全への変遷機構の解明	稲垣 薫克	心臓生理機能部	900,000	補委 文部省科学研究費補助金
ヒト心房性不整脈の発生基質に関する病理組織学的探索	松山 高明	臨床検査部	600,000	補委 文部省科学研究費補助金
長寿遺伝子Sir2の加齢性心疾患における病態生理学的意義と治療応用	小林 貴	予防健診部	1,100,000	補委 文部省科学研究費補助金

小計  
19

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
心臓外サルコイドーシスに対する最新画像診断を用いた心臓病変早期検出の多施設研究	永井 利幸	心臓血管内科部門	1,300,000	補委 文部省科学研究費補助金
シグナル指向的リン酸化プロテオーム解析による動脈硬化発症の分子ネットワークの同定	八木 寛陽	分子薬理部	1,400,000	補委 文部省科学研究費補助金
心機能検査指標を用いたバンコマイシン個別化適正投与方法開発に関する基盤研究	島本 裕子	薬剤部	1,300,000	補委 文部省科学研究費補助金
体外循環中の高酸素管理下における炎症反応機序の解明ー理想的な体外循環法の検討ー	藤井 豊	心臓生理機能部	1,600,000	補委 文部省科学研究費補助金
生体4Dイメージングによる血管の管腔形成機構の解析	中嶋 洋行	細胞生物学部	1,900,000	補委 文部省科学研究費補助金
体内植込み型医療機器臨床試験における倫理的問題の検討	中田 はる佳	知的資産部	800,000	補委 文部省科学研究費補助金
自己組織化誘導型体内バイオプロセスに基づく栄養血管網を有する重厚心筋組織体の開発	岩井 良輔	生体医工学部	1,600,000	補委 文部省科学研究費補助金
アンチセンス核酸医薬における脂質分子のコンジュゲート・ルールの確立	和田 俊輔	病態代謝部	1,300,000	補委 文部省科学研究費補助金
生理活性ペプチドを用いた拡張型心筋症の新規治療法の開発	戦 冬雲	心臓生理機能部	1,000,000	補委 文部省科学研究費補助金
体内埋め込み型治療機器による生体内電磁界曝露に関する定量的評価手法の確立	築谷 朋典	人工臓器部	1,100,000	補委 文部省科学研究費補助金
病因物質を生体内の別の代謝経路から除去する新たな治療法・メタボリックスイッチング	馬原 淳	生体医工学部	1,100,000	補委 文部省科学研究費補助金
腸内嫌気性醗酵ガスによる新規食品機能概念の創生と代替医療への応用展開	下内 章人	心臓生理機能部	1,000,000	補委 文部省科学研究費補助金
植込式連続流型人工心臓の異常停止時および離脱試験時に使用可能な流路調節装置の開発	巽 英介	人工臓器部	1,200,000	補委 文部省科学研究費補助金
人工材料に対する免疫・炎症反応の網羅的遺伝子発現解析によるin vivo評価	柿木 佐知朗	生体医工学部	1,200,000	補委 文部省科学研究費補助金
脳梗塞治療法の開発を見据えた長寿遺伝子産物Sirt1による脳虚血抵抗性機序の解明	猪原 匡史	脳神経内科部	1,000,000	補委 文部省科学研究費補助金
内因性酸化LDL阻害因子の同定とその動脈硬化性疾患制御機構の解明	垣野 明美	血管生理学部	1,000,000	補委 文部省科学研究費補助金
心筋細胞における筋原線維の同期的収縮を支えるT管の分子機構の解明	阪本 英二	血管生理学部	1,500,000	補委 文部省科学研究費補助金
脂肪酸修飾ペプチドファミリーと受容体による新しい生体調節機構の解明	宮里 幹也	生化学部	1,200,000	補委 文部省科学研究費補助金
2種の抗血栓因子を用いた血管内皮細胞の可視化と発現解析を可能とするマウスの作製	宮田 敏行	分子病態部	1,000,000	補委 文部省科学研究費補助金

小計  
19

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新しい手法による新規内皮特異的遺伝子の心血管発生における意義の解析	中川 修	分子生理部	500,000	補委 文部省科学研究費補助金
補助人工心臓治療を高度化する能動的計測法による新しいモニタリングシステムの構築	大沼 健太郎	人工臓器部	700,000	補委 文部省科学研究費補助金
日本発世界初の完全自己組織からなる僧帽弁用ステントバルブの開発	水野 壮司	生体医工学部	1,400,000	補委 文部省科学研究費補助金
オートファジー細胞死の制御による新規心血管治療法の開発	山原 研一	再生医療部	1,400,000	補委 文部省科学研究費補助金
生体内組織形成術により作製したバイオバルブの全人工心臓への応用	住倉 博仁	人工臓器部	800,000	補委 文部省科学研究費補助金
側枝血管の確実な血流維持を可能とする脳動脈治療用カバーステント開発における孔設計	中山 泰秀	生体医工学部	1,400,000	補委 文部省科学研究費補助金
超高解像度局所分子機能定量SPECT画質改善のための画像再構成アルゴリズムの開発	銭谷 勉	画像診断医学部	1,500,000	補委 文部省科学研究費補助金
心不全ラットにおける水代謝病態解明及び飲水行動制御による治療効果の検討	鄭 燦	循環動態制御部	2,500,000	補委 文部省科学研究費補助金
ADAM/ADAMTSプロテアーゼによる基質認識と制御機構の構造生物学的研究	武田 壮一	心臓生理機能部	1,700,000	補委 文部省科学研究費補助金
アンフィビアスに至る脊椎動物の進化モデル動物のグレリンシステムの変遷	海谷 啓之	生化学部	1,300,000	補委 文部省科学研究費補助金
pH調節トランスポータNHE1から発信される膜局所pHシグナルの形成機構の解明	久光 隆	分子生理部	1,300,000	補委 文部省科学研究費補助金
形質膜イオン輸送体近傍から発信する細胞内シグナル増幅機構の解明	若林 繁夫	分子生理部	1,200,000	補委 文部省科学研究費補助金
循環器疾患の予防に向けた性差に基づく脂質管理に関する研究	竹上 未紗	予防医学・疫学情報部	1,300,000	補委 文部省科学研究費補助金
大規模コホートに基づく個別化されたリスク予測ツール、バイオマーカーの有用性の研究	西村 邦宏	予防医学・疫学情報部	1,900,000	補委 文部省科学研究費補助金
生活習慣病における血管内皮特異的オートファジー制御機構の解明	林 真一郎	高血圧・腎臓部	1,200,000	補委 文部省科学研究費補助金
特発性拡張型心筋症における樹状細胞の心筋浸潤および成熟化の臨床的意義	菅野 康夫	心臓血管内科部門	1,200,000	補委 文部省科学研究費補助金
迷走神経刺激による心筋幹細胞の賦活化を利用した新規心血管再生治療法の開発	李 梅花	循環動態制御部	1,600,000	補委 文部省科学研究費補助金
心臓ナトリウム利尿ペプチドを用いた新しい周産期心筋症治療法の開発	大谷 健太郎	再生医療部	1,300,000	補委 文部省科学研究費補助金
不安定動脈硬化巣を検出する核磁気共鳴法を用いた新たな冠動脈・分子画像診断法の開発	浅海 泰栄	心臓血管内科部門	1,300,000	補委 文部省科学研究費補助金

小計  
19

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
心筋型ミオシン軽鎖キナーゼを創薬標的とした新たな心血管作動薬の開発	瀬口 理	移植部	1,900,000	補委 文部省科学研究費補助金
心筋症・心不全発症機構の伸展刺激感受性イオンチャネル機能解析からの解明	岩田 裕子	分子生理部	1,300,000	補委 文部省科学研究費補助金
心房性ナトリウム利尿ペプチドの血管保護作用を応用した癌細胞転移抑制機構	細田 洋司	再生医療部	1,400,000	補委 文部省科学研究費補助金
インドシアニングリーンを用いた局所脳血流測定法の確立に関する研究	吉谷 健司	手術部	1,000,000	補委 文部省科学研究費補助金
不育症と妊娠高血圧症候群の遺伝的背景に関する研究	根木 玲子	周産期・婦人科部	1,500,000	補委 文部省科学研究費補助金
モノアミン動態への薬理的介入による虚血・再灌流時心筋細胞傷害軽減の検討	秋山 剛	心臓生理機能部	2,000,000	補委 文部省科学研究費補助金
Chronic electrical activation of the arterial baroreflex in hypertensive rats - determining the role of unmyelinated baroreceptors	TURNER MICHAEL	循環動態制御部	2,200,000	補委 文部省科学研究費補助金
脳小血管病におけるアクチン代謝異常のメカニズム解明と新規治療法の開発に向けた挑戦	山本 由美	再生医療部	1,500,000	補委 文部省科学研究費補助金
CHP3の心筋における新たなAkt-GSK3βシグナル調節因子としての役割の解明	古林 創史	分子生理部	1,600,000	補委 文部省科学研究費補助金
心臓リハビリテーションによる脳由来神経栄養因子を介した心不全治療の検討	高潮 征爾	心臓血管内科	600,000	補委 文部省科学研究費補助金
肺動脈性肺高血圧におけるヒト剖検心からの右室心筋病理の解析	岩朝 徹	小児循環器部	700,000	補委 文部省科学研究費補助金
早産・低出生体重児脳性麻痺の新規動物モデルの確立及び薬剤/幹細胞治療の探索	大畠 麻妃子	再生医療部	1,700,000	補委 文部省科学研究費補助金
肺線維症・間質性肺炎とその急性増悪に対するCNPを用いた新規治療の基盤確立	木村 亨	生化学部	1,600,000	補委 文部省科学研究費補助金
心房性ナトリウム利尿ペプチドの血管保護作用による革新的癌治療法の開発	野尻 崇	生化学部	1,700,000	補委 文部省科学研究費補助金
ドナー・凍結・iPS細胞由来の配偶子の生殖利用に関する倫理的・法的問題の検討	遠矢 和希	医学倫理研究室	1,000,000	補委 文部省科学研究費補助金
心拍変動解析は補助人工心臓離脱を判定し得るか	岸本 諭	人工臓器部	2,500,000	補委 文部省科学研究費補助金
神経マイクロマシンと遺伝学的多次元蛍光イメージングによる自律神経細胞動態の解明	神谷 厚範	循環動態制御部	1,400,000	補委 文部省科学研究費補助金
生体幹細胞ニッチを保持した人工ECMによる自己幹細胞からの拍動心筋細胞分化誘導	山岡 哲二	生体医工学部	1,000,000	補委 文部省科学研究費補助金
ICH-GCP臨床試験のための新しいコンピュータバリデーション手法の開発	山本 景一	予防医学・疫学情報部	1,100,000	補委 文部省科学研究費補助金

小計  
19

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
SIRT1活性化薬を用いた脳梗塞の新規予防／治療法の開発	服部 頼都	再生医療部	1,500,000	補委 文部省科学研究費補助金
血管内皮細胞とペリサイトの双方向性シグナルによる血管機能制御機構の解明	福原 茂朋	細胞生物学部	1,400,000	補委 文部省科学研究費補助金
都市部地域住民を対象とする血漿Na利尿ペプチドと頸動脈硬化の進展に関する追跡研究	小久保 喜弘	予防健診部	2,400,000	補委 文部省科学研究費補助金
細胞周期依存的な新しいホルモン作用切り換え機構の発見とその役割の解明	波多江 利久	分子薬理部	1,200,000	補委 文部省科学研究費補助金
心筋線維芽細胞特異的発現を示す新たな増殖因子受容体の精製・同定	北風 政史	臨床研究部	1,100,000	補委 文部省科学研究費補助金
高血圧発症における延髄心臓血管中枢の微小循環機能障害の役割	白井 幹康	心臓生理機能部	1,300,000	補委 文部省科学研究費補助金
自己組織由来心臓弁（バイオバルブステント）によるカテーテル的移植の可能性の検討	武輪 能明	人工臓器部	1,000,000	補委 文部省科学研究費補助金
温度応答性ポリ乳酸ハイドロゲルを利用した心筋梗塞治療システムの開発	中谷 武嗣	移植部	1,000,000	補委 文部省科学研究費補助金
壁細胞特異的Notch3による虚血性血管新生メカニズムの解明	山本 由美	再生医療部	1,100,000	補委 文部省科学研究費補助金
生体組織の三次元的な機能・構造再生に関する研究	神戸 裕介	生体医工学部	1,300,000	補委 文部省科学研究費補助金
皮膚活性酸素種の新規計測法の開発と臨床応用	神野 直哉	心臓生理機能部	1,100,000	補委 文部省科学研究費補助金
NDRGファミリータンパク質によるナトリウム/カリウムATPaseの機能調節	井本 ひとみ	分子病態部	1,200,000	補委 文部省科学研究費補助金
生体ガスによる活性酸素種計測法の開発と臨床応用	下内 章人	心臓生理機能部	13,600,000	補委 文部省科学研究費補助金
卵膜由来間葉系幹細胞系統分離法の開発、ならびに分類細胞の特異的移植療法の確立	池田 智明	再生医療部	3,100,000	補委 文部省科学研究費補助金
新たな血管内皮作働分子による血栓形成誘導機構に関する研究	藤田 佳子	血管生理学部	800,000	補委 文部省科学研究費補助金
光干渉断層法を用いた下肢動脈ステント内組織性状の評価	坂本 伸吾	心臓血管内科	900,000	補委 文部省科学研究費補助金
LED体内照射による組織形成促進化技術の確立：ステント付バイオバルブへの応用	船山 麻理菜	臨床研究部	1,000,000	補委 文部省科学研究費補助金
迅速・高感度PET検査による脳動脈奇形の機能的循環代謝評価	丸山 大輔	脳神経外科	1,000,000	補委 文部省科学研究費補助金
生体内ライブイメージングによる血管安定化に関わる壁細胞動態の解析	安藤 康史	細胞生物学部	1,100,000	補委 文部省科学研究費補助金

小計  
19

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
認知症治療薬の開発を見据えたTauのクリアランス機序の解明	齊藤 聡	再生医療部	1,100,000	補 文部省科学研究費補助金 委
運動時の心臓副交感神経活動はどのように制御されているのか？	土持 裕胤	心臓生理機能部	3,000,000	補 文部省科学研究費補助金 委
生体イメージングによる血管新生シグナルの時空間制御機構の解明	福原 茂朋	細胞生物学部	12,600,000	補 文部省科学研究費補助金 委
ライブイメージングによる血管-神経ワイヤリングの誘導・維持機構の解明	望月 直樹	細胞生物学部	16,700,000	補 文部省科学研究費補助金 委
食欲と脂肪蓄積の制御と破綻の分子基盤の解明	寒川 賢治	研究所長	5,500,000	補 文部省科学研究費補助金 委
新たな食欲・エネルギー代謝制御関連因子の探索法の開発と機能解析	寒川 賢治	研究所長	35,500,000	補 文部省科学研究費補助金 委
多階層データに基づく心臓電気現象の統合的機能シミュレーション	中沢 一雄	研究情報基盤管理室	7,400,000	補 文部省科学研究費補助金 委
膜電位分極化による細胞分化の制御機構の研究	岡澤 慎	血管生理学部	1,500,000	補 文部省科学研究費補助金 委
止血血栓形成に関わる複合体プロテアーゼの構造生物学的研究	武田 壮一	心臓生理機能部	2,200,000	補 文部省科学研究費補助金 委
QT延長症候群における遺伝子変異部位別チャンネル機能異常と不整脈基盤・予後との関係	相庭 武司	心臓血管内科部	4,000,000	補 文部省科学研究費補助金 委

小計  
10

計  
180

(注)1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	小川 久雄	副院長	Differences Between Rosuvastatin and Atorvastatin in Lipid-Lowering Action and Effect on Glucose Metabolism in Japanese Hypercholesterolemic Patients With Concurrent Diabetes - Lipid-Lowering With Highly Potent Statins in Hyperlipidemia With Type 2 Diabetes Patients (LISTEN) Study	CIRCULATION JOURNAL
2	豊田 一則	脳血管部門長	CHADS(2) and CHA(2)DS(2)-VASc scores as bleeding risk indices for patients with atrial fibrillation: the Bleeding with Antithrombotic Therapy Study	HYPERTENSION RESEARCH
3	白石 公	小児循環器・周産期部門長	Acute Rupture of Chordae Tendineae of the Mitral Valve in Infants A Nationwide Survey in Japan Exploring a New Syndrome	CIRCULATION
4	吉松 淳	周産期・婦人科部長	Factors contributing to mortality and morbidity in pregnancy-associated intracerebral hemorrhage in Japan	JOURNAL OF OBSTETRICS AND GYNAECOLOGY RESEARCH
5	藤田 知之	心臓外科部長	Right heart failure and benefits of adjuvant tricuspid valve repair in patients undergoing left ventricular assist device implantation	EUROPEAN JOURNAL OF CARDIO-THORACIC SURGERY
6	藤田 知之	心臓外科部長	Initial experience with internal mammary artery harvesting with the da Vinci Surgical System for minimally invasive direct coronary artery bypass	SURGERY TODAY
7	藤田 知之	心臓外科部長	Off-pump coronary artery bypass grafting for a left main lesion due to cardiac allograft vasculopathy in Japan: first report of a case	SURGERY TODAY
8	野口 暉夫	心臓血管内科部長(冠疾患科)	High-Intensity Signals in Coronary Plaques on Noncontrast T1-Weighted Magnetic Resonance Imaging as a Novel Determinant of Coronary Events	JOURNAL OF THE AMERICAN COLLEGE OF CARDIOLOGY
9	植田 初江	病理部長	The pathological implications of heart transplantation: Experience with 50 cases in a single center	PATHOLOGY INTERNATIONAL

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
10	宮下 史生	脳血管内科	The Effectiveness of a Stroke Educational Activity Performed by a Schoolteacher for Junior High School Students	JOURNAL OF STROKE & CEREBROVASCULAR DISEASES
11	三隅 祐輔	心臓血管外科	Long-term outcomes of common atrioventricular valve plasty in patients with functional single ventricle	INTERACTIVE CARDIOVASCULAR AND THORACIC SURGERY
12	前田 琢磨	集中治療科(ICU)	Inaccuracy of the FloTrac/Vigileo (TM) System in Patients With Low Cardiac Index	JOURNAL OF CARDIOTHORACIC AND VASCULAR ANESTHESIA
13	帆足 孝也	小児心臓外科	Long-term outcomes after definitive repair for tetralogy of Fallot with preservation of the pulmonary valve annulus	JOURNAL OF THORACIC AND CARDIOVASCULAR SURGERY
14	帆足 孝也	小児心臓外科	Efficacy of new pediatric extra-corporeal life support system (Endumo 2000) for postoperative management after Norwood operation	JOURNAL OF ARTIFICIAL ORGANS
15	藤野 雅史	冠疾患科	Impact of Acute and Chronic Hyperglycemia on In-Hospital Outcomes of Patients With Acute Myocardial Infarction	AMERICAN JOURNAL OF CARDIOLOGY
16	福田 健治	脳神経外科	Relationship between Carotid Artery Remodeling and Plaque Vulnerability with T1-Weighted Magnetic Resonance Imaging	JOURNAL OF STROKE & CEREBROVASCULAR DISEASES
17	福田 健治	脳神経外科	Utility of Intraoperative Fetal Heart Rate Monitoring for Cerebral Arteriovenous Malformation Surgery during Pregnancy	NEUROLOGIA MEDICO-CHIRURGICA
18	福井 重文	肺循環科	Right ventricular reverse remodelling after balloon pulmonary angioplasty	EUROPEAN RESPIRATORY JOURNAL
19	早川 幹人	脳血管内科	Endovascular Treatment of Acute Stroke with Major Vessel Occlusion before Approval of Mechanical Thrombectomy Devices in Japan: Japanese Registry of Neuroendovascular Therapy (JR-NET) and JR-NET 2	NEUROLOGIA MEDICO-CHIRURGICA
20	秦 広樹	心臓外科	Pathological analysis of the aortic valve after long-term left ventricular assist device support	EUROPEAN JOURNAL OF CARDIO-THORACIC SURGERY



番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
21	野田 崇	不整脈科	Appropriate Duration of Driving Restrictions After Inappropriate Therapy From Implantable Cardiac Shock Devices – Interim Analysis of the Nippon Storm Study	CIRCULATION JOURNAL
22	根木 玲子	産科	Nonsynonymous mutations in three anticoagulant genes in Japanese patients with adverse pregnancy outcomes	THROMBOSIS RESEARCH
23	中西 道郎	心血管リハビリテーション科	Targeting of High Peak Respiratory Exchange Ratio Is Safe and Enhances the Prognostic Power of Peak Oxygen Uptake for Heart Failure Patients	CIRCULATION JOURNAL
24	永井 利幸	心臓血管内科	Incidence and Prognostic Significance of Myocardial Late Gadolinium Enhancement in Patients With Sarcoidosis Without Cardiac Manifestation	CHEST
25	永井 利幸	心臓血管内科	Decreased Myocardial Dendritic Cells is Associated With Impaired Reparative Fibrosis and Development of Cardiac Rupture After Myocardial Infarction in Humans	JOURNAL OF THE AMERICAN HEART ASSOCIATION
26	津田 悦子	小児循環器科	A survey of the 3-decade outcome for patients with giant aneurysms caused by Kawasaki disease	AMERICAN HEART JOURNAL
27	津田 悦子	小児循環器科	Emergency coronary artery bypass grafting for cardiogenic shock due to left main coronary artery obstruction caused by Kawasaki disease in a 4-year-old boy	PEDIATRICS INTERNATIONAL
28	田中 裕史	血管外科	Embolism is emerging as a major cause of spinal cord injury after descending and thoracoabdominal aortic repair with a contemporary approach: magnetic resonance findings of spinal cord injury	INTERACTIVE CARDIOVASCULAR AND THORACIC SURGERY
29	田中 博明	周産期・婦人科	Analysis of Anticoagulant Therapy by Unfractionated Heparin During Pregnancy After Mechanical Valve Replacement	CIRCULATION JOURNAL
30	田中 博明	周産期・婦人科	Cardiovascular Events in Pregnancy With Hypertrophic Cardiomyopathy	CIRCULATION JOURNAL

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
31	田中 博明	周産期・婦人科	Analysis of pregnancies in women with Takayasu arteritis: Complication of Takayasu arteritis involving obstetric or cardiovascular events	JOURNAL OF OBSTETRICS AND GYNAECOLOGY RESEARCH
32	秦 広樹	心臓外科	Early and Mid-term Outcomes of Aggressive Tricuspid Annuloplasty with the MC3 Ring	JOURNAL OF HEART VALVE DISEASE
33	佐藤 徹	脳神経外科	Endovascular Treatment for Ruptured Vertebral Artery Dissecting Aneurysms: Results from Japanese Registry of Neuroendovascular Therapy (JR-NET) 1 and 2	NEUROLOGIA MEDICO-CHIRURGICA
34	佐藤 祥一郎	脳血管内科	Factors associated with unfavorable outcome in minor ischemic stroke	NEUROLOGY
35	佐藤 俊輔	心臓外科	Impact of Prosthesis-Patient Mismatch on Late Recurrence of Atrial Fibrillation After Cryomaze Procedure With Mitral Valve Replacement	CIRCULATION JOURNAL
36	斎藤 こずえ	脳神経内科	Contrast-Enhanced Ultrasound for the Evaluation of Neovascularization in Atherosclerotic Carotid Artery Plaques	STROKE
37	古賀 政利	脳卒中集中治療科	Thrombolysis for Acute Wake-up and unclear-onset Strokes with alteplase at 0.6 mg/kg (THAWS) Trial	INTERNATIONAL JOURNAL OF STROKE
38	古賀 政利	脳卒中集中治療科	Intravenous Nicardipine Dosing for Blood Pressure Lowering in Acute Intracerebral Hemorrhage: The Stroke Acute Management with Urgent Risk-factor Assessment and Improvement-Intracerebral Hemorrhage Study	JOURNAL OF STROKE & CEREBROVASCULAR DISEASES
39	草島 邦夫	小児心臓外科	Clinical experience of more than 2 months usage of extracorporeal membrane oxygenation (Endumo(A(R))4000) without circuit exchange	JOURNAL OF ARTIFICIAL ORGANS
40	北野 正尚	小児循環器科	Evaluation of Valsalva Sinus Wall Deformation Due to Compression by the Amplatzer Septal Occluder and the Potential for Erosion Development	JOURNAL OF INTERVENTIONAL CARDIOLOGY

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
41	岸本 一郎	動脈硬化・糖尿病内科	Hemoglobin A1c predicts heart failure hospitalization independent of baseline cardiac function or B-type natriuretic peptide level	DIABETES RESEARCH AND CLINICAL PRACTICE
42	河原田 修身	血管科	Impact of end-stage renal disease in patients with critical limb ischaemia undergoing infrapopliteal intervention	EUROINTERVENTION
43	河原田 修身	血管科	Contemporary Crossing Techniques for Infrapopliteal Chronic Total Occlusions	JOURNAL OF ENDOVASCULAR THERAPY
44	河原田 修身	血管科	Impact of Aortorenal Morphology on Renal Artery Stent Procedures: Significance of Aortic Tortuosity and Renal Artery Derivation	JOURNAL OF ENDOVASCULAR THERAPY
45	河原田 修身	血管科	Effect of Single Tibial Artery Revascularization on Microcirculation in the Setting of Critical Limb Ischemia	CIRCULATION-CARDIOVASCULAR INTERVENTIONS
46	片岡 有	心臓血管内科	Clinical Predictors of Atheroma Progression Despite Optimal Glycemic Control in Early-Stage Diabetic Patients with Coronary Artery Disease: Insight from the DIANA Study	JOURNAL OF ATHEROSCLEROSIS AND THROMBOSIS
47	大内 秀雄	小児循環器科	Comparison of prognostic variables in children and adults with Fontan circulation	INTERNATIONAL JOURNAL OF CARDIOLOGY
48	大内 秀雄	小児循環器科	Low fasting plasma glucose level predicts morbidity and mortality in symptomatic adults with congenital heart disease	INTERNATIONAL JOURNAL OF CARDIOLOGY
49	大内 秀雄	小児循環器科	Biomarkers in Adult Congenital Heart Disease Heart Failure	HEART FAILURE CLINICS
50	上原 敏志	脳血管リハビリテーション科	Which Should Be the Essential Components of Stroke Centers in Japan? A Survey by Questionnaires Sent to the Directors of Facilities Certified by the Japan Stroke Society	CEREBROVASCULAR DISEASES
51	上原 敏志	脳血管リハビリテーション科	Factors Associated With Onset-to-Door Time in Patients With Transient Ischemic Attack Admitted to Stroke Centers	STROKE
52	岩嶋 義雄	高血圧・腎臓科	Additive Interaction of Oral Health Disorders on Risk of Hypertension in a Japanese Urban Population: The Suita Study	AMERICAN JOURNAL OF HYPERTENSION

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
53	伊庭 裕	血管外科	How should aortic arch aneurysms be treated in the endovascular aortic repair era? A risk-adjusted comparison between open and hybrid arch repair using propensity score-matching analysis(aEuro)	EUROPEAN JOURNAL OF CARDIO-THORACIC SURGERY
54	猪原 匡	脳神経内科	Cilostazol Add-On Therapy in Patients with Mild Dementia Receiving Donepezil: A Retrospective Study	PLOS ONE
55	石井 大造	脳神経外科	Efficacy of Cilostazol in Prevention of Bradycardia during Carotid Artery Stenting	JOURNAL OF STROKE & CEREBROVASCULAR DISEASES
56	池田 善彦	臨床検査科	Coronary triglyceride deposition in contemporary advanced diabetics	PATHOLOGY INTERNATIONAL
57	飯原 弘二	脳神経外科部	The Impact of Comprehensive Stroke Care Capacity on the Hospital Volume of Stroke Interventions: A Nationwide Study in Japan: J-ASPECT Study	JOURNAL OF STROKE & CEREBROVASCULAR DISEASES
58	森山 典晃	心臓血管内科 レジデント	Admission Hyperglycemia Is an Independent Predictor of Acute Kidney Injury in Patients With Acute Myocardial Infarction	CIRCULATION JOURNAL
59	水橋 里弥	脳神経外科 専門修練医	Impact of diabetes mellitus on characteristics of carotid plaques and outcomes after carotid endarterectomy	ACTA NEUROCHIRURGICA
60	水野 将徳	小児循環器科 専門修練医	Experience of decortication for restrictive hemodynamics in adults with congenital heart disease	PEDIATRICS INTERNATIONAL
61	藤並 潤	脳血管内科 レジデント	Incidence and Predictors of Ischemic Stroke Events during Hospitalization in Patients with Transient Ischemic Attack	CEREBROVASCULAR DISEASES
62	稗田 道成	心血管リハビリテーション科 専門修練医	Importance of Early Appropriate Intervention Including Antibiotics and Wound Care for Device-Related Infection in Patients With Left Ventricular Assist Device	TRANSPLANTATION PROCEEDINGS
63	西村 寿貴	脳血管内科 専門修練医	Early-Onset Dystonia after Supplementary Motor Area Infarction	JOURNAL OF STROKE & CEREBROVASCULAR DISEASES

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
64	西田 公一	小児循環器科 レジデント	Postoperative mitral leaflet rupture in an infant with Loeys-Dietz syndrome	PEDIATRICS INTERNATIONAL
65	中江 卓郎	脳神経外科 レジデント	Smartphone-Assisted Prehospital Medical Information System for Analyzing Data on Prehospital Stroke Care	STROKE
66	田中 瑛次郎	脳血管内科 脳神経内科 レジデント	Blood Pressure Variability on Antihypertensive Therapy in Acute Intracerebral Hemorrhage The Stroke Acute Management With Urgent Risk-Factor Assessment and Improvement-Intracerebral Hemorrhage Study	STROKE
67	田中 弘二	脳血管内科 レジデント	Three-dimensional analysis of the left atrial appendage for detecting paroxysmal atrial fibrillation in acute ischemic stroke	INTERNATIONAL JOURNAL OF STROKE
68	田中 弘二	脳血管内科 レジデント	Features of Patients with Transient Monocular Blindness: A Multicenter Retrospective Study in Japan	JOURNAL OF STROKE & CEREBROVASCULAR DISEASES
69	田中 弘二	脳血管内科 レジデント	Fatal Multiple Systemic Emboli after Intravenous Thrombolysis for Cardioembolic Stroke	JOURNAL OF STROKE & CEREBROVASCULAR DISEASES
70	高谷 陽一	心臓血管内科 レジデント	Impact of Cardiac Rehabilitation on Renal Function in Patients With and Without Chronic Kidney Disease After Acute Myocardial Infarction	CIRCULATION JOURNAL
71	重畠 裕也	脳血管内科 レジデント	Stroke Education Using an Animated Cartoon and a Manga for Junior High School Students	JOURNAL OF STROKE & CEREBROVASCULAR DISEASES
72	坂本 悠記	脳血管内科 レジデント	Intravenous thrombolysis for patients with reverse magnetic resonance angiography and diffusion-weighted imaging mismatch: SAMURAI and NCVIC rt-PA Registries	EUROPEAN JOURNAL OF NEUROLOGY
73	坂本 悠記	脳血管内科 レジデント	Effects of Stroke Education Using an Animated Cartoon and a Manga on Elementary School Children	JOURNAL OF STROKE & CEREBROVASCULAR DISEASES
74	坂本 悠記	脳血管内科 レジデント	Factors Associated with Proximal Carotid Axis Occlusion in Patients with Acute Stroke and Atrial Fibrillation	JOURNAL OF STROKE & CEREBROVASCULAR DISEASES

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
75	小林 潤平	脳血管内科・脳神経内科 レジデント	Continuous Antihypertensive Therapy Throughout the Initial 24 Hours of Intracerebral Hemorrhage The Stroke Acute Management With Urgent Risk-Factor Assessment and Improvement-Intracerebral Hemorrhage Study	STROKE
76	小林 潤平	脳血管内科・脳神経内科 レジデント	Etiological mechanisms of isolated pontine infarcts based on arterial territory involvement	JOURNAL OF THE NEUROLOGICAL SCIENCES
77	小林 潤平	脳血管内科・脳神経内科 レジデント	Cerebral Autosomal Dominant Arteriopathy with Subcortical Infarcts and Leukoencephalopathy without Anterior Temporal Pole Involvement: A Case Report	JOURNAL OF STROKE & CEREBROVASCULAR DISEASES
78	河野 友裕	脳血管内科 脳神経内科 専門修練医	Aortic Transgraft Hemorrhage after Intravenous Tissue Plasminogen Activator Therapy in Patients with Acute Ischemic Stroke	JOURNAL OF STROKE & CEREBROVASCULAR DISEASES
79	岡田 卓也	脳血管内科 レジデント	Anticoagulation Intensity of Rivaroxaban for Stroke Patients at a Special Low Dosage in Japan	PLOS ONE
80	大崎 正登	脳血管内科 レジデント	Simple clinical predictors of stroke outcome based on National Institutes of Health Stroke Scale score during 1-h recombinant tissue-type plasminogen activator infusion	EUROPEAN JOURNAL OF NEUROLOGY
81	井上 泰輝	脳血管内科 レジデント	Panmedullary Edema with Inferior Olivary Hypertrophy in Bilateral Medial Medullary Infarction	JOURNAL OF STROKE & CEREBROVASCULAR DISEASES
82	伊勢 孝之	心臓血管内科 レジデント	Extensive late gadolinium enhancement on cardiovascular magnetic resonance predicts adverse outcomes and lack of improvement in LV function after steroid therapy in cardiac sarcoidosis	HEART
83	石上 晃子	脳血管内科 脳神経外科 専門修練医	Neurologic Improvement without Angiographic Improvement after Antithyroid Therapy in a Patient with Moyamoya Syndrome	JOURNAL OF STROKE & CEREBROVASCULAR DISEASES
84	天野 達雄	脳血管内科 専門修練医	Stroke Education Program of Act FAST for Junior High School Students and Their Parents	JOURNAL OF STROKE & CEREBROVASCULAR DISEASES

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
85	山崎 智弘	心臓血管外科 レジデント	Comparison of Efficacy of Intensive versus Mild Pitavastatin Therapy on Lipid and Inflammation Biomarkers in Hypertensive Patients with Dyslipidemia	PLOS ONE

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。
- 5 平成二十六年度中の業務報告において当該実績が七十件未満の場合には、平成二十六年度の改正前の基準による実績についても報告すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1				
2				
3				
4				
5				
～				

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 倫理委員会の運営、「委員会の責務」、「倫理審査予備調査」、「審査の方法」、「研究許可申請手続き」、「迅速審査」、「研究者等の責務」、「実施状況報告の審査」等	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容：「利益相反マネジメントの対象」、「職員等の責務」、「利益相反マネジメント委員会所掌事項」、「調査結果に基づく処置」、「異議申立て」、「利益相反相談室の設置」等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 4 回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 3 回
・ 研修の主な内容 「弱者を対象とする（含む）研究での倫理的配慮について」、「研究とインフォームドコンセント」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針：ポイント解説」等	



(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

わが国の循環器病対策の一環として、循環器病診療に従事する医師に対し、高度の専門的知識及び技術を修得させ、技術・知識の向上を図ることを目的とする。

2 研修の実績

研修医の人数	81人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
安斉 俊久	循環器内科	心臓血管内科部長	26年	
豊田 一則	脳血管・神経内科	脳血管部門長	28年	
—	精神科			研修プログラム無し
白石 公	小児循環器科	小児循環器部長	33年	
小林 順二郎	心臓血管外科	副院長	35年	
市川 肇	小児心臓外科	小児心臓外科部長	31年	
—	整形外科			研修プログラム無し
高橋 淳	脳神経外科	脳神経外科部長	24年	
—	皮膚科			研修プログラム無し
—	泌尿器科			研修プログラム無し
吉松 淳	産婦人科	周産期・婦人科部長	28年	
—	眼科			研修プログラム無し
—	耳鼻咽喉科			研修プログラム無し
東 将浩	放射線科	CT室医長	23年	
—	歯科			研修プログラム無し
大西 佳彦	麻酔科	手術部長	32年	
			年	
			年	
			年	
			年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容</li><li>・研修の期間・実施回数</li><li>・研修の参加人数</li></ul>
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容</li><li>・研修の期間・実施回数</li><li>・研修の参加人数</li></ul>
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・研修の主な内容：循環器病診療に従事する看護師、診療放射線技師、臨床検査技師及び臨床工学技士に対し、高度の専門的知識及び技術を修得させ、専門職員の技術・知識の向上を図ることを目的とする。</li><li>・研修の期間・実施回数：10日間・1回／年</li><li>・研修の参加人数：68人</li></ul>

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2.) 現状
管理責任者氏名	病院長 内藤 博昭
管理担当者氏名	総務課長：山口 照太、医事室長：森田 健志、情報管理室長：舩原 宏通、薬剤部長：栗原 健

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書			平成24年1月より診療記録は電子保存（電子カルテ）としている。従前のカルテ、X線フィルム等については1患者1ファイル方式とし、集中管理している。診療録等の院外持ち出しは原則禁止としている。病院長の許可を得た場合のみ可能としている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事課	
	高度の医療の提供の実績	医事室	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究医療課	
	高度の医療の研修の実績	研究医療課	
	閲覧実績	情報管理室	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事室	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事室 薬剤部		
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項の各号及び第九の二十第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全室	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策室	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事室	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	感染対策室
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策室
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策室
	第一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室
	各号及び第九條	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療安全室
	第二十三條	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全室
	第一項	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全室
	第一号に掲げる体制の確保の状況	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全室
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全室
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全室	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全室	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	② 現状
閲覧責任者氏名	医療情報部長：内藤 博昭、情報統括部長代理：原口 亮	
閲覧担当者氏名	総務課長：山口 照太、医事室長：森田 健志、情報管理室長：船原 宏通	
閲覧の求めに応じる場所	診療録等開示閲覧室	
閲覧の手続の概要 円滑な運用を確保するため、情報公開窓口を設置し運用 ①開示申請者から所定の申請書提出 ②申請書を受けて開示・不開示の決定 ③申請者に対し開示・不開示の決定通知書の送付 ④当該文書等の閲覧		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 第1章【1.趣旨 2.医療安全の基本的な考え方 3.医療安全に係る安全管理のための委員会・組織に対する基本的事項 4.医療安全に係る安全管理のための職員に対する研修に関する基本方針 5.センターにおける事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 6.医療事故発生時の対応に関する基本方針 7.医療従事者と患者との情報共有に関する基本方針 8.患者からの相談への対応に関する基本方針 9.その他の医療安全の確保のための基本方針】、第 2 章から構成。第2章は、用語の定義、第1章2～9の実務的内容を記す。	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
・ 活動の主な内容： ア)医療安全管理指針の制定、改訂に関すること。イ)医療安全管理に関する職員への教育・研修に関すること。ウ)医療安全確保を目的とした改善のための検討に関すること。エ)医療事故等重大な問題が発生した場合の対応に関すること。オ)医療事故の分析及び再発防止策の検討並びに立案された防止対策及び改善策の実施状況の調査及び評価、見直しに関すること。カ)医療安全管理に関する研究、広報、院外活動に関すること。キ)医療安全上の訴訟に関すること。ク)診療に関する患者・家族からの意見、要望に関すること。ケ)その他医療安全管理に関すること等	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 回
・ 研修の主な内容： 全職員対象医療安全講習会 第1回：WHO患者安全カリキュラムガイド多職種版 2 0 1 1 第2回：医療事故と医療紛争の予防について	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療安全コア会議のメンバーがコメディカルを含む構成になっており、コア会議で検討した上、医療安全室員会議、推進担当者会議からの意見を集約し改善策を検討し、最終、医療安全委員会で決定し職員へ周知している。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有( 3 名)・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有( 1 名)・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員： 専任 ( 3 ) 名 兼任 ( 1 7 ) 名 ・ 活動の主な内容： 医療安全室員によるワーキンググループとしての以下の 8 つの活動を実践している。(教育研修、医薬品管理、医療機器安全管理、インシデント分析、患者誤認防止、誤薬・指示、安全な手術、院内心肺蘇生指示) 今年度はインシデントの 4 0 % を占める誤薬に着目し、抗凝固療法チェックリストを作成。7 月より運用を開始した。	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第 6)

### 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>① 院内感染対策に関する基本的考え方 ②院内感染管理体制 ③職員研修 ④感染症の発生状況の報告 ⑤院内感染発生時の対応 ⑥患者への情報提供と説明 ⑦その他の院内感染対策の推進</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>①院内感染症の調査、予防対策の立案 ②予防対策実施の監視と助言、指導、勧告 ③職員の教育指導 ④院内感染対策の指針及びマニュアルの作成・見直し ⑤その他委員長が必要と認める事項</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 6 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>・ 感染性病原体の伝播予防の基本、 ・ 手指衛生の基本と咳エチケット、 ・ 高度医療を支える院内感染対策、 ・ エボラ出血熱について</p> <p>・ 感染経路別予防策、 ・ 難治性感染症に対する抗菌薬治療、</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>感染対策室に報告がされ、感染対策室は感染対策委員会を開催し、原因究明及び感染拡大防止対策の立案を行う。加えて、必要に応じて現地調査を行い、状況を逐一院長に報告する。</p>	

(様式第 6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2回
・ 研修の主な内容： ・ 医薬品安全管理について ・ 麻薬等の取り扱いについて	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有・無) ・ 業務の主な内容： ①医薬品の採用 ②医薬品の購入 ③調剤室における医薬品の管理 ④病棟・各部門への医薬品の供給 ⑤外来患者への医薬品使用 ⑥在宅患者への医薬品使用 ⑦病棟における医薬品の管理 ⑧入院患者への医薬品使用 ⑨医薬品情報の収集・管理・提供 ⑩手術・麻酔部門 ⑪集中治療室 (ICU・NCU) ⑫輸血・血液管理部門 ⑬生命維持管理装置領域 ⑭臨床検査部門、画像診断部門 ⑮他施設との連携 ⑯事故発生時の対応 ⑰教育・研修	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医薬品メーカーおよび医薬品医療機器総合機構等から随時情報を収集。 院内webにてDIニュースとして発信。 重大情報・緊急情報については文書による回報を合わせて行い、各職員が伝達確認票に押印のうえ、専任医療安全管理者が回収し、伝達状況を確認している。	



(様式第 6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 1 2 8 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○第 1 回人工呼吸器講習会 (Servo i、BiPAP、AVEA、DPAP、Hamilton他)</li><li>○第 2 回人工呼吸器講習会 (Servo i、BiPAP、AVEA、DPAP、Hamilton他)</li><li>○第 3 回人工呼吸器講習会 (Servo i、BiPAP、AVEA、DPAP、Hamilton他)</li><li>○補助人工心臓勉強会 (Dura Heart、EVAHEART、Heart Mate II)</li><li>○PCPS講習会</li><li>○IABP講習会</li><li>○閉鎖式保育器講習会</li><li>○着用型自動除細動器講習会 他</li></ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>保守点検計画表に基づき、臨床工学技士若しくは委託業者により定期点検を実施している。また各使用部署において外観、作動状況等の日常点検を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○日常点検 (始業時点検・使用中点検・終業時点検)</li><li>○定期点検 (電気的安全点検・外観点検・機能点検・性能点検・定期交換部品等の交換等)</li><li>○故障時点検 (定期点検に準じた点検を行い故障箇所を特定する)</li></ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>医薬品・医療機器安全情報をはじめ、メーカーからの提供情報、インターネットによる情報検索により、医療機器の安全使用関連情報を収集し、医療安全委員会等で資料を配付し、各職場で伝達している。</p> <p>伝達状況については伝達確認票を回収し、確認している。</p>	

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構による病院機能評価 平成 27 年 6 月 5 日認定（平成 27 年 3 月 11、12 日受審）	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 ホームページで循環器に関する主な疾患について、その原因や治療法などについて分かりやすく紹介している。 定期的に市民公開講座を開催し、循環器疾患にかかる情報提供・啓蒙活動を実施している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 各診療科にコンサルティングドクターを設けており、速やかな連携を図っている。	